



平成29年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月3日  
上場取引所 東

上場会社名 日本フィルコン株式会社  
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)名倉 宏之

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理・経営企画管掌 (氏名)齋藤 芳治

兼管理本部長

兼経営企画室長

(TEL)042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成29年4月5日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第1四半期の連結業績(平成28年12月1日~平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第1四半期	6,785	4.2	536	41.1	532	40.5	1,235	312.3
28年11月期第1四半期	6,509	5.3	380	10.3	378	△6.0	299	△9.3

(注) 包括利益 29年11月期第1四半期 2,289百万円(875.5%) 28年11月期第1四半期 234百万円(△76.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第1四半期	55.90	—
28年11月期第1四半期	13.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第1四半期	38,268	19,319	49.8
28年11月期	36,129	17,218	46.9

(参考) 自己資本 29年11月期第1四半期 19,070百万円 28年11月期 16,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	7.00	—	9.00	16.00
29年11月期	—	—	—	—	—
29年11月期(予想)	—	5.00	—	6.00	11.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年11月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 創立100周年記念配当2円00銭

3. 平成29年11月期の連結業績予想(平成28年12月1日~平成29年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	2.7	1,450	△23.5	1,550	△20.3	1,900	14.4	85.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年11月期1Q	22,167,211株	28年11月期	22,167,211株
29年11月期1Q	49,500株	28年11月期	72,491株
29年11月期1Q	22,106,938株	28年11月期1Q	21,927,144株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式 (29年11月期第1四半期 20,600株、28年11月期 36,400株、28年11月期第1四半期 196,700株) を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しており、海外経済は、新興国の一部に弱さが残るものの、緩やかな成長が続いております。

このような状況のもと、当社グループは平成29年度から平成31年度までの3か年を対象とする「中期経営重点課題」および「カンパニービジョン」を策定し、各事業の特性に応じた施策を実施すべく努めました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高6,785百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は536百万円（前年同期比41.1%増）となりました。経常利益は、営業利益の増加により532百万円（前年同期比40.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産計上による法人税等△709百万円の影響により1,235百万円（前年同期比312.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は以下の事業で構成されます。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
その他の産業分野	「ふるい分け」「ろ過」、「搬送」用の工業用金網の製造・販売
高機能吸着剤分野	金属吸着カートリッジフィルターやにおい吸着繊維の開発・販売

製紙製品分野では、国内売上高は前年同期並みとなりました。海外売上高は前年同期と比べ出荷数量が減少したことに加え、円高に推移したことから減少いたしました。

その他の産業分野では、前年同期と比べ主に海外向け材料、石油採油用フィルターの販売が減少したことにより売上高が減少いたしました。

高機能吸着剤分野の売上高は前年同期と比べ減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は4,331百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は退職給付費用の減少もあり452百万円（前年同期比1.8%増）となりました。一部の連結子会社は退職給付費用の算定に簡便法を採用しており、年金資産の運用が前年同期に比べ好調に推移したため退職給付費用が減少いたしました。

## ②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は以下の事業で構成されます。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体、ディスプレイ、プリント基板、MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターンニングの原版となるフォトマスクの製造・販売
太陽光発電システム設備販売分野	太陽光発電部材の販売、太陽光発電システム設備の販売

エッチング加工製品分野では、大型・中型タッチパネル製品が前期途中から量産化を開始したため売上高は前年同期と比べ増加いたしました。量産化に伴い収益性が改善いたしました。

フォトマスク製品分野では、自動車産業用半導体向け、パワー半導体向け、MEMS関連等の非半導体向けへの積極的な拡販活動の結果、売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

太陽光発電システム設備販売分野では、大型案件が完成引き渡されたことから売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は2,094百万円（前年同期比31.8%増）、営業利益は340百万円（前年同期比172.4%増）となりました。

## ③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は以下の事業で構成されます。

アクア事業	プール、ろ過装置の設計・販売
プロダクト事業	防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売

アクア事業では、前年同期と比べ主にろ過装置関係の案件が減少したため売上高が減少いたしました。

プロダクト事業では、前年同期と比べ売上高が減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は100百万円（前年同期比33.4%減）、営業損失は88百万円（前年同期営業損失60百万円）となりました。

## ④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は当社が保有する不動産を店舗、マンション、駐車場等として賃貸しております。

当期は、前年に引き続き既存の賃貸物件が順調に稼働いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は259百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は196百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

（注）各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異363百万円（前年同期比14.9%増）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べ767百万円増加し、19,285百万円となりました。これは主として、現金及び預金が202百万円、商品及び製品が169百万円、仕掛品が151百万円、原材料及び貯蔵品が101百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,371百万円増加し、18,982百万円となりました。これは主として、機械装置及び運搬具が282百万円、有形固定資産のその他に含めております建設仮勘定が315百万円、投資その他の資産の投資有価証券が481百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,138百万円増加し、38,268百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ924百万円増加し、12,619百万円となりました。これは主として、短期借入金683百万円、賞与引当金が264百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ887百万円減少し、6,329百万円となりました。これは主として、長期借入金175百万円、その他に含めております繰延税金負債が716百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し、18,948百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,101百万円増加し、19,319百万円となりました。これは主として、利益剰余金が1,036百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益1,235百万円、剰余金の配当199百万円）、その他有価証券評価差額金が218百万円、為替換算調整勘定が819百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月期の連結業績予想につきましては、平成29年1月10日公表の業績予想から変更しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「繰延税金資産の計上および平成29年11月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用し、最近の業績動向等を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間において繰延税金資産を追加計上し、法人税等△709,387千円を計上しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,196,755	4,399,464
受取手形及び売掛金	7,641,651	7,637,643
商品及び製品	3,065,363	3,234,557
仕掛品	1,844,424	1,996,393
原材料及び貯蔵品	1,161,219	1,262,931
その他	713,362	860,975
貸倒引当金	△104,483	△106,050
流動資産合計	18,518,292	19,285,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,609,810	4,673,048
機械装置及び運搬具(純額)	2,295,398	2,577,696
土地	4,025,861	4,079,916
その他(純額)	497,432	824,128
有形固定資産合計	11,428,503	12,154,790
無形固定資産		
のれん	578,790	580,807
その他	361,591	409,141
無形固定資産合計	940,381	989,949
投資その他の資産		
投資有価証券	3,207,107	3,688,486
リース投資資産	528,188	523,005
その他	1,515,717	1,633,429
貸倒引当金	△8,587	△7,049
投資その他の資産合計	5,242,426	5,837,872
固定資産合計	17,611,311	18,982,612
資産合計	36,129,603	38,268,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,756,367	3,763,911
短期借入金	3,160,602	3,843,682
1年内返済予定の長期借入金	1,175,934	994,302
未払法人税等	185,673	135,435
賞与引当金	67,270	331,958
その他	3,348,726	3,550,001
流動負債合計	11,694,573	12,619,291
固定負債		
長期借入金	4,061,082	3,885,568
退職給付に係る負債	177,641	185,047
環境対策引当金	133,800	133,800
長期預り敷金保証金	1,433,271	1,403,568
資産除去債務	106,275	105,216
その他	1,304,566	616,286
固定負債合計	7,216,637	6,329,486
負債合計	18,911,210	18,948,777
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	12,732,088	13,768,576
自己株式	△45,106	△37,997
株主資本合計	17,284,888	18,328,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	401,322	619,654
繰延ヘッジ損益	—	△3,264
為替換算調整勘定	△749,287	70,287
退職給付に係る調整累計額	7,732	55,771
その他の包括利益累計額合計	△340,232	742,447
非支配株主持分	273,737	248,816
純資産合計	17,218,393	19,319,750
負債純資産合計	36,129,603	38,268,528

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
売上高	6,509,371	6,785,967
売上原価	4,168,660	4,291,032
売上総利益	2,340,711	2,494,934
販売費及び一般管理費	1,960,393	1,958,358
営業利益	380,317	536,576
営業外収益		
受取利息	1,975	1,817
受取配当金	13,580	13,807
持分法による投資利益	57,829	73,576
その他	19,997	15,775
営業外収益合計	93,382	104,976
営業外費用		
支払利息	24,146	19,782
為替差損	60,196	68,876
その他	10,455	20,393
営業外費用合計	94,798	109,052
経常利益	378,901	532,499
税金等調整前四半期純利益	378,901	532,499
法人税等	75,481	△709,387
四半期純利益	303,420	1,241,887
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,747	6,218
親会社株主に帰属する四半期純利益	299,673	1,235,668



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	303,420	1,241,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△216,215	218,331
繰延ヘッジ損益	338	△3,264
為替換算調整勘定	117,738	691,519
退職給付に係る調整額	19,445	48,038
持分法適用会社に対する持分相当額	10,018	93,372
その他の包括利益合計	△68,674	1,047,997
四半期包括利益	234,746	2,289,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,622	2,318,349
非支配株主に係る四半期包括利益	53,123	△28,464

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,513,018	1,588,737	150,392	257,223	6,509,371	—	6,509,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,117	250	392	—	1,760	△1,760	—
計	4,514,136	1,588,987	150,784	257,223	6,511,132	△1,760	6,509,371
セグメント利益 又は損失(△)	444,066	124,904	△60,037	188,056	696,990	△316,672	380,317

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△316,672千円は、内部取引にかかわる調整額△1,242千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△315,429千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,331,612	2,094,333	100,158	259,863	6,785,967	—	6,785,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,353	1,165	450	—	7,968	△7,968	—
計	4,337,965	2,095,498	100,608	259,863	6,793,935	△7,968	6,785,967
セグメント利益 又は損失(△)	452,018	340,255	△88,497	196,725	900,501	△363,925	536,576

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△363,925千円は、内部取引にかかわる調整額△7,968千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△355,957千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。